

史料群番号 69

史料群名	いけがみや そうべえ 池上屋惣兵衛家文書		旧所蔵者	不明
探訪時住所	(大阪府岸和田市)			
現在の住所	(大阪府岸和田市)			
探訪年月	不明			
史料の年代	元治1 (1864) 年～明治6 (1873) 年	史料の 総点数	10点	
年代の内訳	近世 3点/近代 3点/その他 4点	筆写稿本	なし	
既刊行目録	なし			

収蔵にいたる経緯

史料が収められていたと思われる茶封筒（無地）に、大阪堺のある人物が購入したと記されている。古書店で購入した史料が、いつの時点かは不明だが寄贈されたものであろう。史料は10点すべてが「干鰯通帳」と題された横半帳で、裏表紙に「池上屋惣兵衛」、そのうちの数点に「池上 和具」の印が押されている。これは通帳の作成者であろう。一方、通帳の宛先として「東大路村 滝川治郎右衛門」の名がすべての帳面に見える。和具は志摩国（三重県）英虞郡和具村（現在の志摩町）、東大路村は和泉国（大阪府）南郡東大路村（現岸和田市）と推定される。堺の人物が購入したことを考えると、「東大路村 滝川家」に残されたものと考えられる。

史料群の概要

池上屋惣兵衛は、英虞（あご）郡和具（わぐ）村にあった魚商であったと考えられる。一方の東大路村の滝川治郎右衛門家がどのような家だったかは定かではないが、この辺りが近世より綿花栽培の盛んな土地であることを考えると、綿作のための魚肥として干鰯を買い入れたか、あるいは干鰯商人として池上屋から買い入れた干鰯を仲介していたかのどちらかであったと考えられる。幕末～明治初頭の、西日本における干鰯流通に関する史料である。